

# 仕 様 書

仕様書番号 FJS - F - 2 - 技 09 - 091

ソフトVCTFプラス

品 名 3 × 0 . 7 5 mm<sup>2</sup> 3 × 1 . 2 5 mm<sup>2</sup> 3 × 2 mm<sup>2</sup>

( 黒、 白、 緑 / 黄 )



**富士電線工業株式會社**

〒582-0001 大阪府柏原市本郷5丁目5番48号

TEL 販売部 072-(971)-8831(代)

TEL 技術部 072-(973)-0711(代)

## 仕 様 書

### ソフトVCTFプラス (黒白緑/黄)

#### 1. 適用範囲

この仕様書は、富士電線工業株式会社が製造する耐熱ソフトビニルキャブタイヤ丸形コード  
(記号：ソフトVCTFプラス) の次のサイズのものについて規定する。

3×0.75mm<sup>2</sup> (黒、白、緑/黄)

3×1.25mm<sup>2</sup> (黒、白、緑/黄)

3×2mm<sup>2</sup> (黒、白、緑/黄)

#### 2. 適合性検査証明書番号及びJISマーク

(1) ソフトVCTFプラスの適合性検査証明書番号は、次のとおりである。

JET1342-12009-1002

(2) ソフトVCTFプラスはJISマーク認証品とし、認証番号を表示する。

JE0507007 JE0507009

#### 3. 構造

付表1による。

#### 4. 特性

付表2による。

#### 5. 試験方法

付表2による。

#### 6. 包装・荷姿

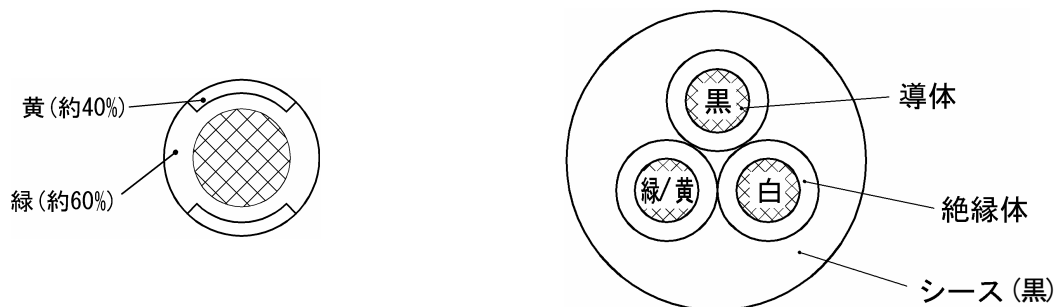
ソフトVCTFプラスは1条づつタバ巻又はドラム巻とし、運搬中損傷のない様に適当な荷造りを施す。

ソフトVCTFプラス 3心 (黒、白、緑/黄)

付表1 構造

項 目		0.75mm <sup>2</sup>	1.25mm <sup>2</sup>	2mm <sup>2</sup>
導 体 (軟銅集合 より線)	素線構成 (本/mm)	30/0.18	50/0.18	37/0.26
	素線径 (mm)	0.180±0.008		0.260±0.010
	よりピッチ (mm)	36 以下	45 以下	54 以下
	より外径 (mm)	約 1.1	約 1.5	約 1.8
絶縁体 (耐熱ビニル 混合物)	厚 さ	標 準 (mm)	0.60	
		平 均 (mm)	0.54 以上	
		部分最小 (mm)	0.48 以上	
	外 径 (mm)	2.3±0.12	2.7±0.12	3.0±0.12
線 心 より合わせ	より方向	左		
	よりピッチ (mm)	54 以下	62 以下	70 以下
	より外径 (mm)	約 5.0	約 5.8	約 6.5
シース (ビニル 混合物)	厚 さ	標 準 (mm)	1.0	
		平 均 (mm)	0.9 以上	
		部分最小 (mm)	0.7 以上	
	仕上り外径 (mm)	7.0±0.35	7.8±0.35	8.5±0.35
表面表示	ソフトVCTFプラス サイズ* (認証番号) ㊞ JET <PS>E FUJI E.W.C ㊞ 西暦 -F-			

断面図



## ソフトVCTFプラス

付表2 特性

項目		特性		試験方法
導体抵抗	0.75mm <sup>2</sup>	25.1 Ω/Km以下		JISC3005.4.4
	1.25mm <sup>2</sup>	15.1 Ω/Km以下		
	2 mm <sup>2</sup>	9.79 Ω/Km以下		
耐電圧	水中	1000Vに1分間耐えること		JISC3005.4.6 a)
	スパーク	5000Vに0.15分間耐えること		JISC3005.4.6 c)
絶縁抵抗	常温	5 MΩKm以上		JISC3005.4.7.1
	高温	0.005 MΩKm以上		JISC3005.4.7.2
引張強さ・伸び	絶縁体	引張強さ	10MPa 以上	JISC3005.4.16
		伸び	120% 以上	
	シース	引張強さ	10MPa 以上	
		伸び	120% 以上	
耐加熱性	絶縁体	引張強さ	加熱前の値の 90% 以上	JISC3005.4.17
		伸び	加熱前の値の 75% 以上	
	シース	引張強さ	加熱前の値の 85% 以上	
		伸び	加熱前の値の 80% 以上	
耐巻付加熱性		表面にひび、割れを生じないこと		JISC3005.4.19
耐低温巻付性		表面にひび、割れを生じないこと		JISC3005.4.20
耐加熱変形性	絶縁体	厚さの減少率 30% 以下		JISC3005.4.23
	シース	厚さの減少率 50% 以下		
難燃性		60秒以内で自然に消えること		JISC3005.4.26 b)
Fマーク難燃性		ｲ) 各接炎後、試料の燃焼により生ずる炎が60秒以内に消滅すること。 ｴ) 試料から落下した燃焼物により、脱脂綿が燃焼しないこと。 ｴ) 表示旗の試験後における消失及び焦げ面積が25%以下であること。		電気用安全法技術基準別表第8準拠